

や 広報たしる

No.375

昭和59年11月号

田代町企画管財課編集

1,550部発行

人口のうごき

基本台帳人口 昭和59年10月1日現在		前月との増減
男	2,043人	△ 7人
女	2,222人	2人
計	4,265人	△ 5人
世帯数	1,446戸	△ 3戸



“グランドチャンピオン” “農林水産大臣賞” 受賞

(ダブル受賞した原沢 幸さん)

原沢部落

昭和58年度

与税、地方交付税と、使途が特定されていく特定財源に分類すると一般財源が六六・六％で九億五千九百八十四万九千円、特定財源が三三・四％で四億八千二百二十二万九千円となつています。

また、歳入決算額を自主財源（地方公共団体が、自主的に財源を調達し得る町税、諸収入、分担金負担金等の収入）と依存財源とに分類すると、自主財源が、一八・四％で二億六千五百三十八万七千円、依存財源が一・六％、十一億七千六百六十九万一千円となりました。

歳出の状況

歳出の決算状況は第二表のとおりです。

予算額に対する支出率は九八・四％で、対前年比では四・一％の減となっております。性質別の決算額についてみると扶助費が三三・八％の減

となり、これは老人医療費によるものです。

公債費については、年々増加の傾向にあり、一一・七％の増となっております。

積立金については、一九〇・五％と大幅な増加になつておりますが、これは、庁舎建設基金積立金を九千二百九十四万九千円積立てたものによるものです。

普通建設事業支出金については、花瀬公園整備、橋りょう整備が、昭和五十七年度で完成したため、二二・五％の減となっております。

この結果、人件費、扶助費、公債費の義務的経費の構成比は四一・六％（前年度三九・一％）と前年度より二・五ポイント増加しました。

逆に、普通建設事業、災害復旧事業の構成比は、三二・一％（前年度四〇・九％）と前年度より八・八ポイント減少しました。

第2表 昭和58年度 性質別歳出決算の状況

区 分	昭和58年度		昭和57年度		増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比	
人件費	337,172	24.7	313,593	7.5	
扶助費	56,878	4.2	85,972	△33.8	
公債費	173,348	12.7	155,131	11.7	
物件費	120,021	8.8	119,910	0.1	
維持補修費	16,091	1.2	16,106	△0.1	
補助費等	107,607	7.9	106,645	0.9	
積立金	100,681	7.4	34,660	190.5	
投資及び出資金貸付金	418	-	200	109.0	
繰出金	13,832	1.0	7,630	81.3	
普通建設事業費	431,907	31.7	557,158	△22.5	
災害復旧事業費	5,167	0.4	23,683	△78.2	
歳出合計	1,363,122	100.0	142,688	△4.1	

昭和58年度末における公有財産の状況

土地及び建物

区 分	土 地	建 物
本 庁 舎	11,528	2,351
その他行政機関	1,187	207
学 校	69,255	11,337
公 営 住 宅	25,134	3,663
公 園	41,545	437
その他の施設	773,101	1,873
山 林	4,065,194	
合 計	4,986,944	19,868

昭和58年度末における地方債現在高の状況

57年度末	58年度	58年度	58年度末
現在高	発行額	償還額	現在高
1,278,647	126,100	90,246	1,314,501

簡易水道会計の決算

水道会計の収支状況は別表のとおりです。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は百六十九万三千円の黒字で、単年度では七十五万二千円の赤字となりました。

（次ページへつづく）

決算のあらまし

昭和五十八年度の地方財政並びに本町財政は厳しい財政状況のもとで、従来にも増して事務事業の整理合理化、財源の確保と重点的効率的配分に努めるとともに田代町総合振興計画の着実な推進を図り、「豊かで明るい町づくり」を基本に各種の事業を実施しました。

予算規模については、当初予算で十二億五千八百三十九万七千円を計上しましたが、その後一億二千六百二十一万円の補正により、最終予算規模は十三億八千四百六十七万七千円となりました。

これに対する決算規模は歳入決算額で十四億四千二百七十八万八千円、歳出決算額で十三億六千三百三十二万二千円となり前年度に比べ、歳入決算額で、五千九百六十六万八千円、四・〇％の減、歳出決算額で、五千七百五十六万六千円、四・一％の減となりました。

決算收支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で、七千八百九十五万六千円の黒字となりました。

また、この収支額には昭和五十七年度からの繰越金八千五百八十八万八千円が含まれていますが、これを差し引いた昭和五十八年度一箇年の収支、すなわち昭和五十八年度単年度収支額は、二百二十万二千円の赤字となりました。

この単年度収支額に財政調整基金積立金（七百七十三万二千円）を加えた実質単年度収支は、五百六十三万円の黒字となりました。

尚、近年建設計画の庁舎建設資金として九千二百九十四万九千円を積立て、昭和五十八年度末現在高で、一億七千二百九十四万九千円となりました。

第1表 昭和58年度歳入決算状況

区 分	昭和58年度		昭和57年度		増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比	
町 税	119,778	8.3	110,293	8.6	
地方譲与税	20,821	1.4	19,146	8.7	
自動車取得税交付金	8,743	0.6	8,415	3.9	
地方交付税	718,048	49.8	712,156	0.8	
分担金及び負担金	24,414	1.7	31,295	△22.0	
使用料	10,229	0.7	7,947	28.7	
手数料	1,400	0.1	1,193	17.4	
国庫支出金	120,598	8.4	147,209	△18.1	
県支出金	182,381	12.7	253,855	△28.2	
財産収入	16,652	1.2	10,398	60.1	
寄付金	2,530	0.2	5,416	△53.3	
繰入金	146	-	-	-	
繰越金	81,058	5.6	29,031	179.2	
諸収入	9,180	0.6	8,192	12.1	
町 債	126,100	8.7	157,200	△19.8	
歳入合計	1,442,078	100.0	1,501,746	△4.0	

一般会計の決算状況

このように、決算収支のうちでは「黒字」となっていますが、内容的には、昭和五十八年度末における地方債の現在高が、十三億一千四百五十万一千円で多額の借入金に依存した財政運営となっており、今後の町債償還金の増大等を考慮すれば、必ずしも樂觀を許されない状況であります。

歳入の状況

歳入の決算状況は第一表のとおりです。

予算額に対する収入率は、一〇四・二％で、対前年比では、四・〇％の減となっております。

歳入決算額の款別内訳についてみると分担金負担金が、二二・〇％の減、国庫支出金が、一八・一％の減、これは老人医療費が、一千九百二十八万一千円の減、馬渡橋の竣工により、四千万円の減となっております。

県支出金については、一八・一％の減で、これは、普通建設事業支出金の農村基盤整備が、二千四百四十六万二千円、林道六百四十九万五千円、新農構二千四百四十九万九千円、公園整備一千三百四十万九千円が、それぞれ減となっております。

町債については、過疎債が二千八百万円、災害復旧事業債が五百四十万円、それぞれ減となりました。

これを使途が特定されていない一般財源（町税、地方譲

失業保険の基本手当の支給日数

年齢	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上
30歳未満	90日	90日(90日)	90日(90日)	180日(90日)
30歳以上45歳未満	90日	90日(180日)	180日(180日)	210日(180日)
45歳以上55歳未満	90日	180日(240日)	210日(240日)	240日(240日)
55歳以上65歳未満	90日	210日(300日)	240日(300日)	300日(300日)
65歳以上75歳未満	90日	240日(300日)	240日(300日)	300日(300日)
75歳以上	90日	240日(300日)	240日(300日)	300日(300日)

() 内は従来の給付日数です。

基本手当の支給を受けることのできる日数の最大限は、年齢や勤続期間などに応じ、左表のとおり定められています(これを所定給付日数といいます)。

定期的にガス器具の点検を受けましょう！
ガス漏れ警報器を設置しましょう！

液化石油ガス(プロパンガス)は、クリーンで取扱いが簡単のため、炊事、暖房等に幅広く利用されています。

しかし、ひとたび取扱いを誤りますと大きな惨事を引き起こします。

ガス器具を取り扱う時は、次のことに注意してください。

1. ガス器具からガス漏れがないか、販売店、プロパンガス保安センターの実施する2年に1回の定期的な調査を受ける。
2. ガスコンロ、湯沸かし器等を使った後、必ず元栓を止める。
3. 万一、ガス漏れに気付いたら、元栓、器具栓を止め、みんなに知らせ扉や窓を開けて風通しを良くし、ガスを追い出す。その際、換気扇は絶対に使用しない。併せて室内の火は全部消し、販売店へ連絡して設備の点検を受ける。
4. ガス器具を取り扱う場所には、ガス漏れ警報器を設置する。設置する際には販売店に相談する。

交通事故のご相談は
お気軽にどうぞ
無料でご相談に応じております

午前9時半～午後4時40分(平日)

土曜日は正午まで(第2土曜日は休みです)

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます

◎弁護士相談日：毎週木曜日から午後1時～4時

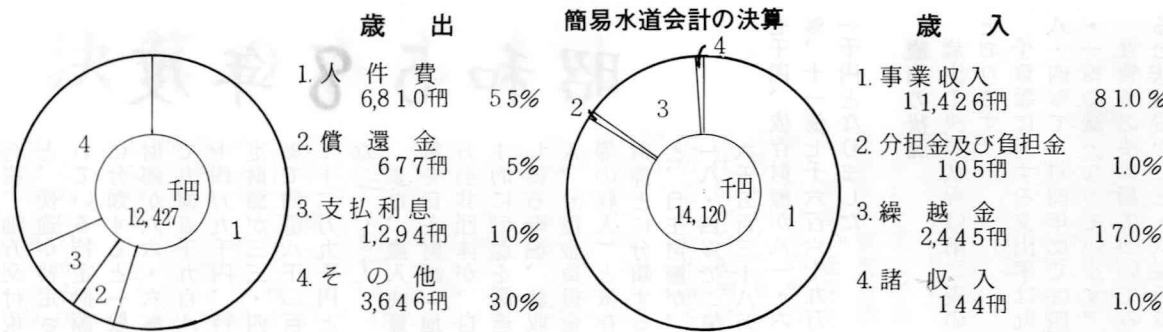
社団法人日本損害保険協会
鹿児島自動車保険請求相談センター
鹿児島市中央町12-2 明治生命西鹿児島ビル5階
鹿児島調査事務所内
☎0992-52-3466(直通) 0992-56-1323
電話のご相談もお受けします

紅葉が終わりに近づき、木の葉が散り始めると、そろそろ動物たちの冬眠シーズンです。冬を寝て過ごす動物といえ、いろいろな動物が、冬眠をします。冬眠とは、冬の間、体温が低くなり、呼吸も止まり、ほとんど動かずに過ごすことです。冬眠は、動物の生存戦略の一つで、エネルギーを節約するために進化したものです。

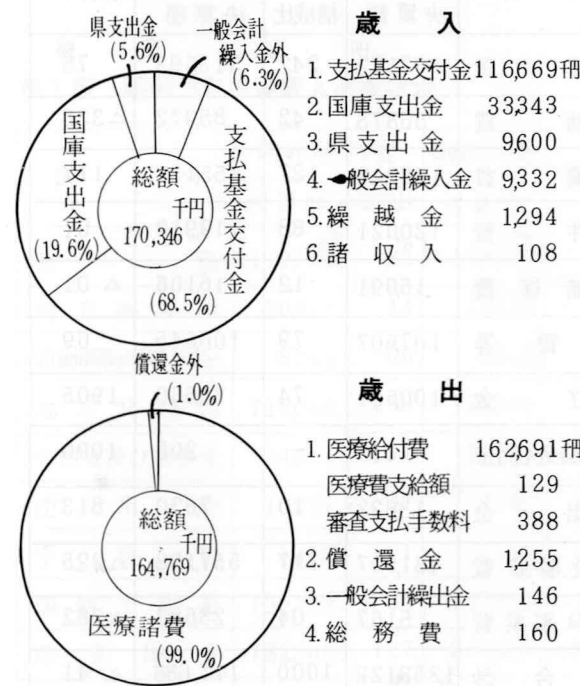
歳時記

冬眠

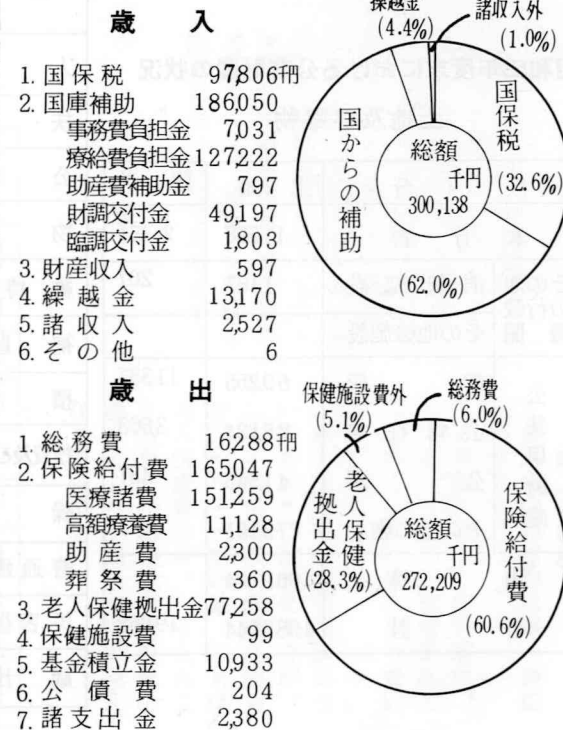
人間は冬眠しませんが、「冬ごもり」という言葉が俳句の季語にあります。窓に目張りをして、家の周りを雪で覆い、家族が団らんを過ごす。雪国ならではの冬の生活風景です。最近では家の構造も変わり、暖房もよくなるようになっています。冬ごもりという感じは、なくなっているように思えます。しかし、冬という言葉は、雪国ならではのイメージが強く、冬ごもりのイメージが強いように思えます。



老人保健医療特別会計の決算
昭和五十八年度、田代町老人保健医療特別会計の決算状況は次のとおりです。
一、歳入総額 一七〇、三四六、三〇〇円
二、歳出総額 一六四、七六九、四一六円
三、繰越金 五、五七六、八八四円
※この差引額は五十九年度において、基金、国庫、県費、一般会計へ全額返納されるため収支は〇円となる。



国保会計の決算
昭和五十八年度、田代町国民健康保険事業特別会計の決算状況は次のとおりです。
一、歳入総額 三〇〇、一三七、九一〇円
二、歳出総額 二七二、二〇八、九一一円
三、繰越金 二七、九二八、九九九円
※この差引額は、五十九年度助産費補助金(五十九年度返納)三、〇〇〇円の精算返納金が含まれている。



人権週間のお知らせ

12月4日から10日までの一週間は人権週間です。
法務省と全国人権擁護委員連合会では、次のことを強調事項としています。
1、「人権の共存」
互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくらう。
2、「部落差別をなくそう」
同和問題について正しい理解と認識をもち、一日も早く部落差別をなくしよう。
3、「婦人の地位を高めよう」
古い因習やしきたりにとらわれず、各分野における男女平等を押し進めよう。
4、「障害者の完全参加と平等を実現しよう」
障害者は、教育、雇用、その他社会一般において、めざまない立場にあることを理解し、その社会への完全参加と平等に努力しましょう。
鹿児島県人権擁護委員会

さわやか君



肝臓は緑の下の力持ち

肝臓は緑の下の力持ちと言われ、体に必要な栄養を作ったり、貯蔵、又アルコールや薬などの解毒処理をする化学工場の役目をしていいます。少々のことでは弱音を吐きませんので、かなりの障害を受けないと症状を出してくれません。

肝臓病はアルコール・薬等により強い肝障害がみられる事もあります。しかし、最も多いのはビールスによるもので、急性肝炎と呼ばれ風邪みたいな症状、吐き気・腹部のむねたれ感などがみられた後、黄疸が出るものがあります。又、急性肝炎が完全に治らず慢性肝炎になる事もあります。

この様な症状が見られる人や家族内に肝臓病の人がいる場合等、一度は肝臓の検査を

肝臓は大変タフな臓器で、全体の七〇％が冒されて初めて症状を出す程度で、しかも特徴的な症状はありません。体がだるい・食欲がない・腹部のむねたれ感程度で、その為胃腸が悪いと思う人もいます。急性肝炎のように強い障害があると、醤油の様な濃い尿や黄疸が出る事もあり、慢性肝炎、肝硬変の場合、ほとんど症状のない場合も多く又、手掌の親指、小指の付根が紅くなる。胸や腕にクモ状血管腫足の軽い浮腫、男性の乳が太きくなる等です。

肝臓は緑の下の力持ちと言われ、体に必要な栄養を作ったり、貯蔵、又アルコールや薬などの解毒処理をする化学工場の役目をしていいます。少々のことでは弱音を吐きませんので、かなりの障害を受けないと症状を出してくれません。

健康だより

肝臓は緑の下の力持ち

肝臓は緑の下の力持ちと言われ、体に必要な栄養を作ったり、貯蔵、又アルコールや薬などの解毒処理をする化学工場の役目をしていいます。少々のことでは弱音を吐きませんので、かなりの障害を受けないと症状を出してくれません。

肝臓は緑の下の力持ちと言われ、体に必要な栄養を作ったり、貯蔵、又アルコールや薬などの解毒処理をする化学工場の役目をしていいます。少々のことでは弱音を吐きませんので、かなりの障害を受けないと症状を出してくれません。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

篤志寄付金

田代町社会福祉協議会

さきに御逝去されました御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚く御礼申し上げますと共に御冥福をお祈り致します。

鍋倉源次様
右田ミチ子様



税を知る週間

十一月十一日(日)から十七日(土)までの一週間

この機会に、私たちの生活に深いかわりをもつ税金について、その仕組みや使いみちなどを理解していただき、その上で、正しい申告と納税について皆さんで考えていただきたいと思います。

この機会に、私たちの生活に深いかわりをもつ税金について、その仕組みや使いみちなどを理解していただき、その上で、正しい申告と納税について皆さんで考えていただきたいと思います。

「税を知る週間」行事表

月	日	曜	時間	行 事 名	場 所
11	8	木	14:10 15:10	租税教室	内之浦中学校
11	10	土	10:00 18:00	暮らしの中の税金展	桜デパート(5階)
11	11	日			
			10:00 15:30	無料税務相談	桜デパート(5階)
11	12	月	10:30 13:00	税理士との座談会	税 務 署
			15:05 15:55	税の作文表彰	宿利原中学校
			8:50 9:40	税の作文表彰	鹿屋中央高校
11	13	火	11:00 13:00	税務協力団体長との座談会	
			8:30 10:20	1日税務署長	税 務 署
11	14	水	11:00 13:00	国税モニターとの座談会	税 務 署
			14:00	間税協力会との座談会	太 平 旅館
11	15	木	10:30 14:00	正しい納税者の集い(青申会)	商 工 会 議 所
			14:00 16:30	税法研修会(法人会)	
			16:30	無料税務相談(各税理士の事務所)	
11	16	金	10:00 11:00	納税組合長会議	県合同庁舎
			11:00 12:00	納税表彰式	
			12:30 13:30	税法研修会(税理士会)	税 務 署
			16:00		
11	17	土	10:30 12:00	経営指導員との座談会	
			14:00 17:00	焼酎まつり	さつき苑

年末調整

十二月は、給料などにかかる源泉所得税の年末調整の月です。

毎月の給料などから源泉徴収された所得税の一年間の合計額と、その年の給与総額に対する正規の年税額とは、一致しないのが普通です。

このため、過不足額の精算が必要となります。この手続きを「年末調整」と呼んでいます。

く行うことが大切です。今年になって結婚したり、赤ちゃんが生まれた方など扶養親族に異動があった場合は特に注意しましょう。

なお、年末調整についての説明会は、十一月二十一日大根占町中央公民館において行なわれます。

時間は、午前の部が九時三〇分から十一時三〇分まで、午後の部が一時三〇分から三時三〇分までとなっています。

ので、各職場・団体・事業所等の担当者は、いずれか都合のよい方に出会ってください。

自動車税について

自動車税を、まだ納めておられない方は、鹿屋総務事務所職員が、納税の便宜をはかるため、次の日時でまいりますので是非お出かけください。

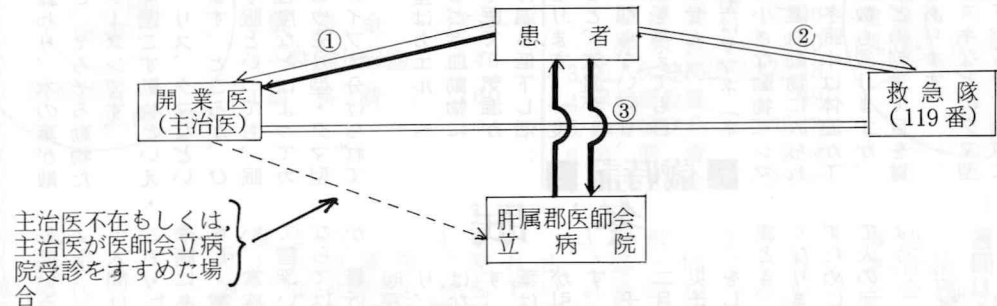
日時 十一月十四日
午前九時から午後四時まで
場所 田代町役場会議室

なお、廃車、解体、下取り等の手続き、あるいは他人に譲った場合、抹消または名義替えをしないときはそのまま税金がかかります。

これらについても相談に応じますので気軽にお出かけください。

救急医療の受診の方法について

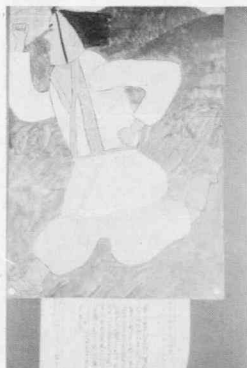
救急医療が発生したら、一次(外来受診のみで済む場合)、二次(入院治療が必要な場合)にかかわらず、地域の開業医(主治医)へご連絡ください。



- ①患者さんが主治医へ直接ご相談された場合
- ②救急隊を要請された場合
- ③医師会病院へ直接ご相談された場合
- ◎いずれの場合も、医師会立病院をご利用いただく場合は、開業医(主治医)の紹介(電話紹介及び紹介状)によります。
- ※あなたは主治医がいますか。
- ※身体に異常を認めたら、早めに主治医へご相談下さい。

本町では、第一回町内小学校読書感想文、感想画展が町開発センターで開催されました。

読書感想文12点、読書感想画20点の出品があり、運動期間中多くの方々がごらんになり読書に関心を深めていただきました。



松下隆君の感想画

「昔、川原の辺に福蔵という山伏がいました。からだの大きさはそれほどでもなかったのですが、そのぼうさんの力といったらおどろきです。」

私が、この本を選んだわけは、なんとなく「アンデルセン」という本に手が出て、少し読んでみると、とてもおもしろそうだったからです。

十四才のとき、アンデルセンは、たった一人で「はいゆう」になるためにコペンハーゲンへ行きました。「たった十四才で、一人で遠い町まで行くなんてすごいなあ、さみしくないのかなあ。」と思いました。私には全然考えられないことです。

コペンハーゲンに着いたアンデルセンは、びき場を見に行きたかったのですが、キッブをかうお金をもっていない。かわいそうに、今すぐに

でも本の中に入り、お金をあげたい気持ちです。

はいゆうになるためには、お金もかかるし勉強もしないといけない大変です。

十四才のアンデルセンには、まだ早いのではないかと思います。でも私は、応えんします。

アンデルセンは、有名なはいゆうのシャル夫人のところに行きました。そしてシャル夫人の前で、びきをおどってみせました。

かわいそうだけれど、多分だめだと思いました。あまり勉強もしていなかったからです。

やっぱり、シャル夫人に「アンデルセン、帰るなさい。」と言われてしまいました。

はいゆうになれなかったアンデルセンは、死にたいと考えたこともありましたが、私は「よっぽど、はいゆうになりたかったのだなあ。」と思いました。

二十三才のとき、コペンハーゲン大学に入学し、ギリシヤ語とラテン語をしっかり勉強しました。そして「人魚ひめ」他百五十六の作品を残し、「童話の王様」といわれました。くじけずに努力してがんばったアンデルセン、私も見習いたいと思います。

寄贈者氏名

- 永吉 房子さん(麓住宅)
- 水野 満雄さん(表木)
- 川路 幸男さん(猪鹿倉)

図書への寄贈者

読書週間の期間中町の図書館に図書の寄贈がありました。今後も家庭で読まれた後町民に読んでいただきたい本がございましたら是非ご献本下さい。

テニスブーム

テニス教室が毎週月曜日と金曜日の午後七時三〇分から大原中学校で開かれています。はじめてラケットを手にした方も体育指導委員の中原操先生やスポーツ指導員の上田鉄朗先生の指導で上達が早いようです。

中央グラウンドのテニスコートもテニス協会の援助で整備されました。今からでも遅くはありません。テニスで汗を流してみませんか。

特に、大原中学校の生徒さんによる田代町に伝わる民話を題材にした辺志切の「福蔵塚」は、生徒14名による感想画で、すばらしい題材で町民の皆さんが感銘を受けてご覧になったようです。

ここにその一部を紹介します。

◎感想画 大原中 松下 隆



にぎわった読書感想文・感想画展

秋です 本です 読書です

読書で心身ともに健やかな子どもを育てよう

生徒会だより「緑園」

南大隅高校 田代分校

田代分校生徒会では、生徒会だより「緑園」を発行していますが、このほど本年度の第四号ができたので、その記事をもとに学校の近況をお知らせします。



体育大会開催

今年の体育大会は、九月二〇日、小雨の中で決行された。全校生徒一一九人という小人数ながら、一人で役員、選手応援など何役もこなしながら全校一致協力して大会をスムーズに運営している姿は、来賓や参観の父兄にさわやかな印象を与えていました。

競技の部では三年生が貫禄をみせて優勝し、一年生が二



位で、応援の部では、三年生一位、二年生二位でした。

秋の一日遠足

十月八日、すばらしい秋空の下、全校生徒、大隅路のダグリ岬で秋の一日遠足を楽しみました。



気の合った者同志で海岸を散歩したり、公園のハトとたわむれ、ゴースターに乗り打

ち興ずるなかで、生徒同志、先生と生徒の心のふれ合いを一層深めることができました。

就職試験開始

十月一日から就職試験が始まりました。今年の求人数は県内から二七人、県外から五七五人ありました。今年特に目立ったのは県内求人が少なかった(男子八人、女子一人)ということ。県内希望が多かった女子は特にがんばりましょう。

田代小学校

母校愛に燃えて

今年も老人会から竹箒と雑布をたくさんいただきました。

十月四日午後、おじいさんおばあさんの代表六名の方々が学校まで運びこみ、児童代表に渡され、児童は真心のこもった贈りものに、ひたすら感激するばかりでした。

おじいさん、おばあさん方が、母校愛に燃え、孫の顔を思い浮かべ、いつまでも美しい学校で充実した学習ができるようにと願い、丹精こめて作られた竹箒や雑布の一つ一つに、手垢や汗のにおいがにじんできているようです。

児童も、こうした温かい思

晴れの受賞



十月十八日、県の図書館大会の席上で、田代小PTA親子読書会(田代米里子会長・会員数七十一名)が、優良親子読書会として表彰を受けました。

この親子読書会は、子どもが読書好きになり、読書意欲を高め、豊かな心の持ち主になることを願って、五十五年

いやり心をつたえ、おじいさんやおばあさんに恩返しをしたいということで、全校児童が千羽鶴を折り、手紙を書いて贈りました。

これからも、おとしよりと児童の心のきずなは一層かたく結ばれ、児童の心に、おじいさん、おばあさんの姿をえがき続け、ふれあいが深まっていくことでしょう。

おじいさん、おばあさんありがとうございました。

十月に、当時の福山会長の努力でうぶ声をあげました。以後、目標に向かって着実に歩み続け、毎月、第二土曜日の夜、開発センターで読書会を開き、歌、スライド、紙芝居、読書体験発表、お話し会、レクリエーション、読書等を行い、楽しく、充実した読書会を重ねています。

また、夏に一回、若宮神社で緑陰読書をやっています。こうして、子どもの読書熱は一段と高まり、学校での図書館利用も高まっています。

読書にふさわしい季節です。おとうさん、おかあさん、おみやげに本を買ってあたえてみませんか。子どもは、もともと本好きなんです。時間と場所をつくってやりましょう。

生活ノートより 近川留美

今日は時間を大切に使った。いつもはむだな時間が多いので、すぐおそくなる。

でも、今日はちがう。だからすぐ終わって、ほかにいろいろすることができた。

これからも時間を大切に使っていきたい。

かめさんみたいに、最後までがんばって、うさぎさんみたいに、早くやろう。



すばらしい演奏でした

運動会 スナップ



たくさん参加した小学生100米走



堂々の入場行進



創作ダンス さすが中学生



あわててよくとおらんなあ



そんなゆうぎ知らんよ!! (田代幼稚園・川原保育園うんどう会)



創意工夫した青年むかで競争



さいごまで頑張った持久走 (田代うんどう会)



先生がいちばん!! (大原中うんどう会)



はりきる応援団長 (田代うんどう会)



ボクたちが、小学生の分まで頑張った (大原小中うんどう会)